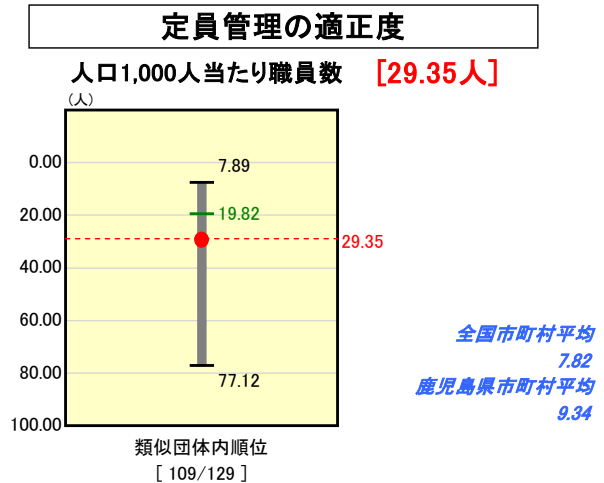
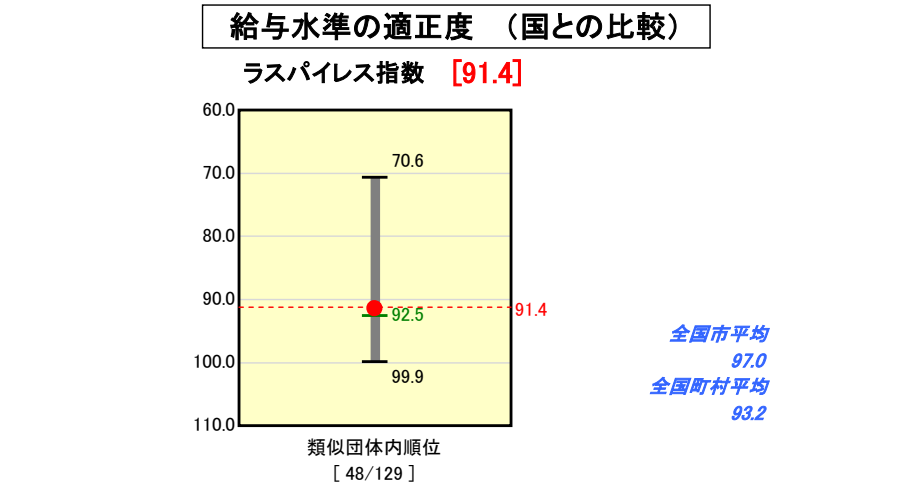
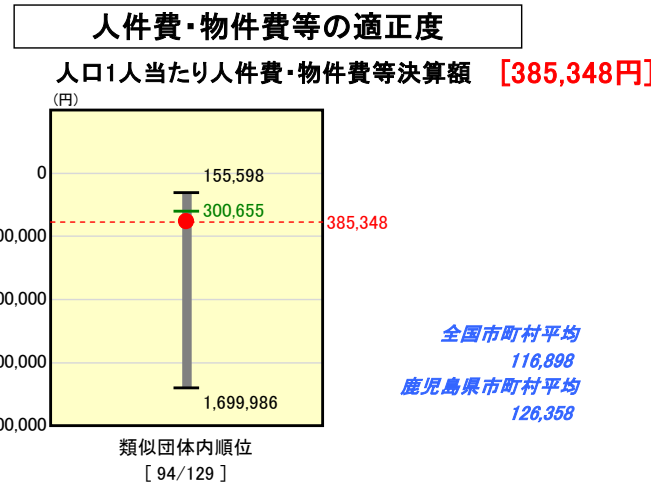
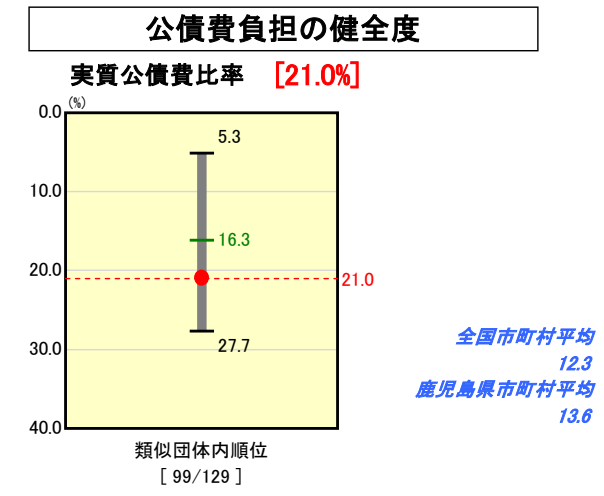
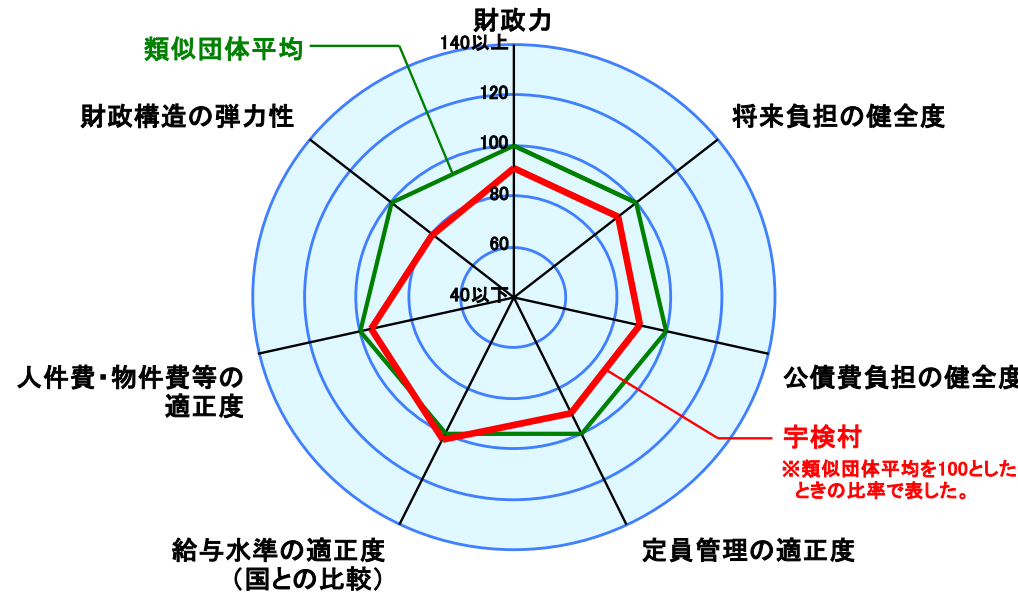
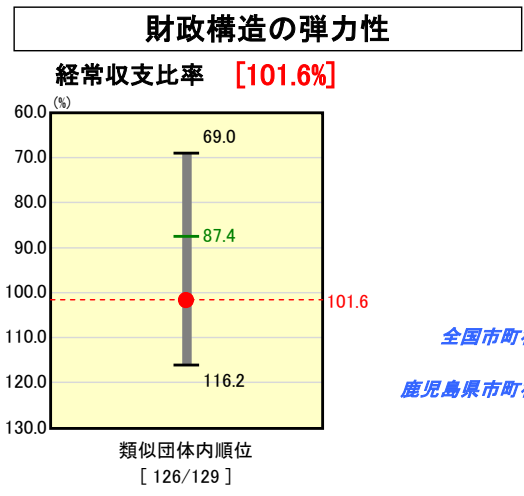
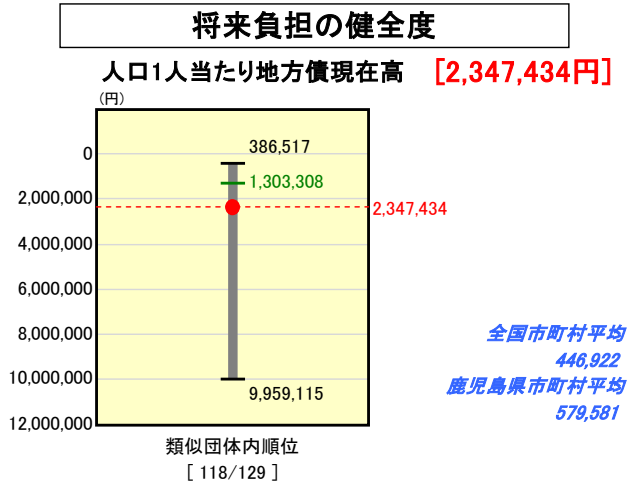
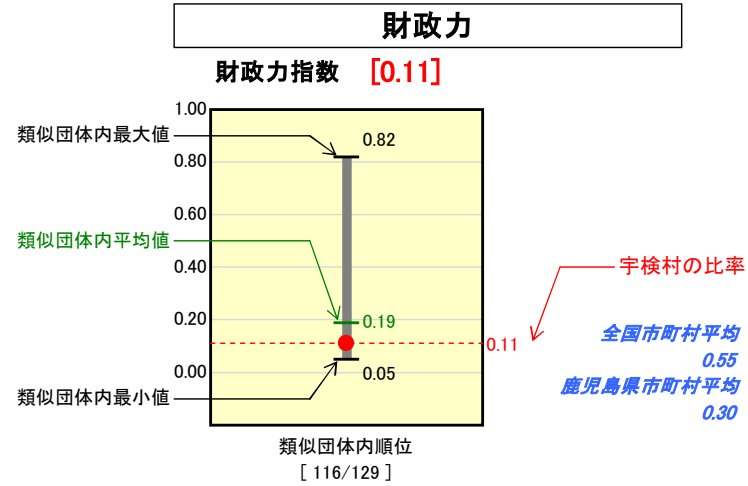


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 鹿児島県 宇検村

人口	2,044人(H20.3.31現在)
面積	103.07 km <sup>2</sup>
歳入総額	2,871,953千円
歳出総額	2,815,739千円
実質収支	56,214千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

○財政力指数: 人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(20年末38%)に加え、村内には養殖業や焼酎工場等の産業はあるものの財政基盤が弱く、類似団体平均を下回っている。組織の見直し(8課2局体制から5課2局体制)と集中改革プランに沿った施策の重点化の両立に努め活力あるまちづくりを展開しつつ、行政の効率化に努めることにより、財政の健全化を図る。

○経常収支比率: 平成4年度から平成9年度にかけての大型公共事業の実施で地方債の借入が大幅に伸び、その影響で公債費が増加したことから101.6%と類似団体平均を上回っている。現在、公債費負担適正化計画を策定して実施しており、事業の優先、選定し地方債の借入を抑制し、繰上償還を実施して償還金の抑制・縮減に努めている。これらの取組により「平成24年度決算時までに90%以下」を目標に改善に努める。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額について、類似団体平均と比較して物件費は低いが人件費が上回っている。現在、集中改革プランや定員適正化計画等により年次的に職員数の削減を図っている。(平成18年度から平成20年度にかけて9人の削減を実施)

○ラスパイルズ指数: 実施済の給与削減計画により(管理職手当10%を月額1万円に、特別職給与10%カット、議員期末手当20%カット)類似団体平均は下回っている。今後も新規採用を計画的に行うなど引き続き縮減に努める。

○人口1人当たり地方債現在高: 類似団体平均を上回っている。主な要因としては、平成4年度から平成9年度にかけて実施した普通建設事業(総事業費H4年度22.6億円 H5年度19.5億円 H6年度26億円 H7年度29.8億円 H8年度24.3億円 H9年度18.7億円 うち起債H4年度6億円 H5年度7.5億円 H6年度8.9億円 H7年度12.9億円 H8年度11.9億円 H9年度7.2億円)であるが、公債費負担適正化計画により新規地方債の発行を抑制していることから、平成9年度に最大67.6億円あった残高が平成20年度には47.9億円と確実に減少しており、平成24年度末には残高が30億円台になるよう努める。

○実質公債費比率: 類似団体平均を上回っているが、公債費負担適正化計画により新規地方債の発行を抑制していることから、平成24年度決算では類似団体の平均近くまで落ちる見込みである。

○人口1,000人当たり職員数: 現在、集中改革プランや定員適正化計画等により職員数の削減を図っているところである。(平成18年度から平成20年度にかけて退職者9人を不補充で9人を削減済)